

感染症対策踏まえ、実効性確認

大成ロテック

大成ロテックは14日、冬季休日の午前6時に都心南部で地震が発生したとの想定で、全国の拠点でBCP(事業継続計画)訓練を実施した。II写真。同社社員のほか、グループ会社のボー、ティーア



ールコンサルタント、泰明工業、京丹建設の社員も含め1668人が参加した。

新たに実施した訓練として、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、災害対策本部および各支社災害対策本部に代替拠点の立上げを必須とし、対策部員の分散を図った上で指揮をとる訓練。従来のTV会議システムに加え、ビデオ会議ツールを用い、TV会議システムの設備のない拠点とも

動画による情報伝達訓練を行うとともに、チャット機能を用いて参加者間の文字による重要情報共有訓練を行った。

ビデオ会議ツール利用については、同社として経験のない同時接続者数によるものとなり、問題の抽出を図ることができた。また、主要要員が災害対策本部に参集できない事態に備え、自宅最寄り拠点に参集し、遠隔指揮を取る訓練を行い、実効性を確認した。

さらに、同日に実施された大成建設のBCP訓練とも連携し、TV会議を用いた緊急連絡体制確保、情報収集訓練、大成建設からの支援要請に対する対応訓練を実施し、災害用資機材手配・供給訓練にも参加した。